

# 町長あいさつ

## ■ 人生100年時代を元気で生き生き活躍

精華町長 杉浦 正省

新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は、町行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

公益社団法人精華町シルバー人材センターの活動は、平成15年3月に発足されて以後、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいていること、また、コロナ禍におかれましても、感染防止対策を講じるなかで諸事業に取り組んでおられますことに、深く敬意を表すところでございます。

さて、精華町でも高齢化が加速しておりますが、「高齢者が元気に活躍できる社会」をめざし、高齢者の方々には、健康を保ち、地域社会の支え手として、また、まちづくりの主人公としてご活躍いただきたいと願っております。その舞台のひとつであるシルバー人材センターの果たされる役割はますます重要なるものと、大きな期待を寄せております。

毎年、多くの仕事が、地域の皆さまからシルバー人材センターへと寄せられています。このことは、会員の皆さま方が地域の皆さまに信頼されていることに他ならず、理事長眞島勝様をはじめ、役職員と会員の

皆さまのご努力により、住民生活の中にしっかり根を下ろしている成果であると、たいへん心強く感じています。

精華町といたしましても、高齢者が豊かな知識や能力を生かし、社会を支える一員として、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援してまいりたいと考えております。

シルバー人材センターにおかれましては、変化する社会情勢や感染症対策など新たな社会環境のなかで、会員皆さまの健康増進にもつながる諸事業のさらなる充実をめざしていただくとともに、会員皆さまが仲間づくりや事業活動を通じて人生の質を高めて、人生100年時代を元気でいきいき活躍されるよう、大いに期待いたしております。

結びに、公益社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご隆盛と、会員皆さまのご活躍とご健康を衷心よりご祈念申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。



### 表紙写真のひとつ 〈遺跡の杜で迎える朝陽〉

木津川左岸の道、南山城の重要な幹線として利用されている京都府道八幡木津線と木津平城線は、歴史の古い道です。奈良時代には、山陽道として平城京を出て山崎の津（現大山崎町）へと向かう道であり、都が平安京に遷った後は京都と南都を結ぶ道として利用され、歌姫越えの郡山街道と呼ばれていた江戸時代には郡山藩柳沢氏の参勤交代にも使われ、対岸の奈良街道へは舟の集落から「藪の渡し」を利用し山城町綺田の藪へと結ばれていました。

この付近の旧木津町の西部から精華町にかけての郡山街道沿いの丘陵地は、遺跡の宝庫でもあり、この辺りの開発工事中には銅鐸が見つかったり（木津町相楽山銅鐸）、平城宮の瓦工場（木津町音如ヶ谷瓦窯）や奈良時代の豪族の館（精華町畑ノ前遺跡）など、発掘調査による重要な発見が相次いだところでもあります。

今回撮影場所として選んだ畑ノ前遺跡は、丘陵上にある弥生時代～奈良時代の複合遺跡です。36年ほど前に発掘調査が行われ、弥生時代の集落と奈良時代の掘立柱建物群が上下に重なって見つかっています。この掘立柱建物群は女帝称徳天皇に仕えた稲蜂間宿禰仲村女（いなはちまのすくねなかむらめ）の一族の居館だと考えられ、この地から直径1.14m、長さ3.54mの檜大木を刳り抜いた井筒が発見され、奈良時代の大きな井戸を掘ったと大いに注目を集めたところです。小高い丘の上で往時をしのびながら朝日を待ちました。（参考資料：けいはんな風土記）

撮影日：2020/11/14 撮影場所：畑ノ前公園 遺跡の杜 撮影：清水泰律